



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 ITbook 株式会社

コード番号 3742 URL <http://www.itbook.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 CEO

(氏名) 恩田 饒

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長

(氏名) 奥山 清文

TEL 03-5319-3668

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	91	—	△65	—	△65	—	△66	—
24年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △66百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△848.68	—
24年3月期第1四半期	—	—

(注) 平成25年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	636	—	228	—	—	35.5
24年3月期	—	—	—	—	—	—

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 226百万円 24年3月期 一百万円

※ 平成25年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年3月期の数値については、記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	400	—	△63	—	△63	—	△65	—	△841.13
通期	1,200	—	25	—	25	—	21	—	272.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 平成25年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期及び対前年四半期増減率については、記載していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	78,383 株	24年3月期	78,383 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	— 株	24年3月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	78,383 株	24年3月期1Q	78,383 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興関連需要などを背景に穏やかに回復しつつあります。しかしながら、欧州の債務問題を背景とした世界経済の減速、長期化する円高およびデフレ等の影響も依然として残り、先行き不透明な状況が続きました。

このような環境のもと、当社グループが所属するIT情報サービス産業においても、公共部門・民間部門の情報化投資抑制傾向が継続しており、経営環境は依然として厳しいものとなりました。

当社グループは、このような状況のもとで、成長力の高い企業集団を目指し、徹底したコスト管理を推進すると同時に、前向きな投資として優秀な人材の確保を進めると共に、クラウド型等のITサービスを始めとするサービスメニューの拡充を図り、受注・販売活動を積極的に取り組んでまいりました。その結果、地方自治体のITコンサルティング業務において大型案件も数件獲得できるようになりました。

また、システム構築事業におきましても新規システム開発案件の受注および付随するハードウェアの販売も順調に推移しました。

なお、「業務・システム最適化ソリューション事業」の特性として、売上の支柱である官庁、地方自治体をはじめとした公共部門に関して、売上が事業年度末の3月に集中する傾向があり、一方、販売費及び一般管理費は、売上高に連動せず、四半期ごとにほぼ均等に発生します。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は91,736千円、営業損失は65,385千円、経常損失は65,309千円となり、四半期純損失は66,522千円となりました。

セグメント業績は、次のとおりであります。

① 業務・システム最適化ソリューション事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は38,123千円、セグメント損失は61,520千円となりました。なお、受注活動に関しましては、計画どおり順調に推移しました。

② システム構築事業

システム構築事業部門の受注及び関連したハード販売事業部門の販売及び保守が堅調に推移したことにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は53,613千円、セグメント利益は529千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は次のとおりです。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、636,411千円となりました。その主な内訳は、現金及び預金171,649千円、受取手形及び売掛金93,711千円、仕掛品35,629千円、無形固定資産264,687千円、投資その他の資産48,501千円であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、408,104千円となりました。その主な内訳は、未払金106,159千円、長期借入金134,080千円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、228,306千円となりました。その主な内訳

は、資本金880,065千円、資本剰余金149,995千円、利益剰余金△804,022千円であり、自己資本比率は35.5%となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年6月21日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更は有りません。

※ 業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであるものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	171,649
受取手形及び売掛金	93,711
商品	633
仕掛品	35,629
その他	9,381
流動資産合計	311,005
固定資産	
有形固定資産	12,216
無形固定資産	
のれん	259,283
その他	5,404
無形固定資産合計	264,687
投資その他の資産	48,501
固定資産合計	325,405
資産合計	636,411
負債の部	
流動負債	
買掛金	25,346
短期借入金	2,000
1年内返済予定の長期借入金	16,080
未払金	106,159
未払法人税等	2,061
賞与引当金	13,547
受注損失引当金	7,107
その他	54,141
流動負債合計	226,444
固定負債	
長期借入金	134,080
その他	47,580
固定負債合計	181,660
負債合計	408,104
純資産の部	
株主資本	
資本金	880,065
資本剰余金	149,995
利益剰余金	△804,022
株主資本合計	226,038
新株予約権	2,267
純資産合計	228,306
負債純資産合計	636,411

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	91,736
売上原価	66,254
売上総利益	25,482
販売費及び一般管理費	※1 90,868
営業損失(△)	△65,385
営業外収益	
受取利息	6
助成金収入	83
その他	15
営業外収益合計	105
営業外費用	
支払利息	29
営業外費用合計	29
経常損失(△)	△65,309
税金等調整前四半期純損失(△)	△65,309
法人税、住民税及び事業税	1,212
法人税等合計	1,212
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△66,522
四半期純損失(△)	△66,522

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△66,522
四半期包括利益	△66,522
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△66,522
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	業務・システム 最適化ソリュー ション事業	システム構築 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	38,123	53,613	91,736	91,736	—	91,736
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	38,123	53,613	91,736	91,736	—	91,736
セグメント利益又は 損失(△)	△61,520	529	△60,991	△60,991	△4,394	△65,385

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額はのれんの償却額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当事業年度（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

該当事項はありません。